

平成25年度「半島担い手強化プログラム」 実施地域の募集

1. 事業名

平成 25 年度 半島担い手強化プログラム

(国土交通省半島振興室が実施する「平成 25 年度半島地域活性化の多様な担い手形成促進調査業務 (以下「調査業務」) の一環として実施します。)

2. 事業目的

「半島担い手強化プログラム」は、地域の課題解決等に向けて半島地域*内外の人材・団体等が協力・協働する実践活動を支援し、これによって半島地域における協力関係を強化し、地域活力を高めることを目的としています。

*半島地域：半島振興法第 2 条第 1 項に基づき指定された半島振興対策実施地域。(詳細は、国土交通省 HP を参照。http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000013.html)

3. 募集対象

(1) エントリー資格

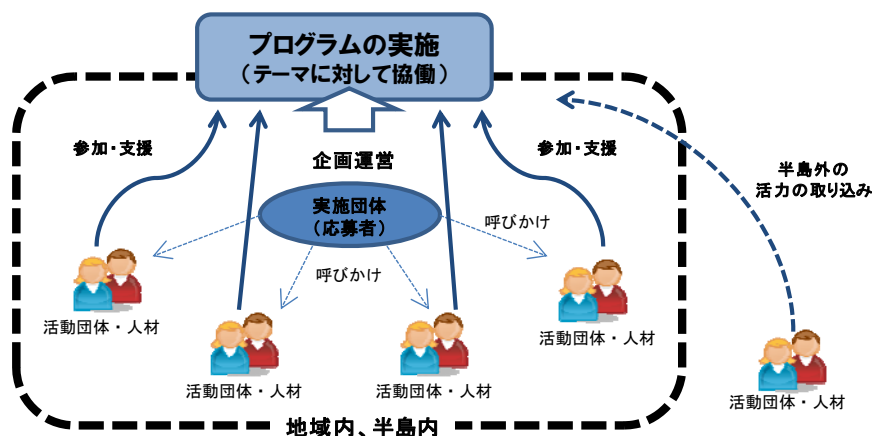
□応募者は、半島地域の地域活性化事業を支援・推進する団体とします。

□民間 (NPO、組合、住民団体、任意グループ等)、行政を問いません。ただし行政が応募者 (代表者) となる場合、プログラムの主たる担い手は地域団体や住民等とし、行政はこれらの招集・コーディネート、事務連絡など活動上のサポートを行うものとします。

□活動フィールドが半島地域にあり、かつ、同地域の活性化に資する取組であれば、応募者の所在地は半島地域外でも結構です。

(2) プログラムの実施体制

応募者である実施団体を中心に、半島地域内外で活動する人材・団体の参加協力を得て行うことが必要です。プログラムの実施により、近隣地域～半島地域内の多様な人材・団体の協働関係を構築・強化することや、半島地域外の活力を取り込むこと等を想定しています。



(3) 取組テーマ、手法

プログラムの取組テーマは、①「観光交流、特産品など商品やサービスの充実」、②「地域資源の保全・継承」、③「地域活性化を担う次世代の育成」、④「その他」とします。

取組の内容や手法は、自由に設定できます。以下を参考にしてください。

○取組の内容として、地域や資源の付加価値、持続可能性を高めるため、これまでの取組を見直したり、新しい事業おこしを検討するなどの活動を想定しています。

○取組例として、共同で作業や意見交換を行う「ワークショップ」、地域を実際に調査する「フィールドワーク」、専門家や事例地域のリーダーから話を聞く「講座・研修会」など、多様な人材・団体の交流・協力が活発化するような手法を想定しています。

【具体的なプログラム実践例】

- 近隣都市との交流人口を増やすために、地域内で活動する団体に呼び掛けて、まち歩きや聞き取りなどを行い、地域資源を紹介するマップを協働で作成する。
- 地域資源（歴史的景観、海岸、里山、地域食など）の保全継承と地域活性化を進めるため、同じ半島地域内で活動する団体や観光事業者等が協力し、都市住民が日帰りや宿泊観光のついでに保全体験を気軽に楽しめる「プチいなか体験プログラム」を企画・販売する仕組みをつくる。
- 農家と加工グループによる農産物加工事業を強化するために、地域産品を扱う店舗や専門家等と協働して、伝統野菜等の地域食材を活用したメニューを開発する。
- 地域資源を活かした体験プログラムの企画実践を行うグループが呼びかけ、都市部にいる地元出身の学生の協力を得て、GISを使いながら半島内の隠れた名物、遊び場、これにまつわる言い伝え等を整理し、郷土学習の副読本をつくる。

(4) 留意事項

プログラムのエントリーにあたっては、以下の点に留意してください。

- ①地域活性化を目的とする公益性・公共性の高い取組であること
- ②地域内のさまざまな世代・分野・領域間の協力・協働を進め、地域活性化の担い手の強化・充実につながる取組であること
- ③共感者・参加者（同一市町村内にとどまらず、他の市町村からの参加）を増やす取組であること
- ④取組成果を地域に還元し、かつプログラム終了後も継続的に取り組むこと
- ⑤国や地方公共団体の財政的支援を受けた（受けている、受ける可能性のある）取組でないこと

なお、事業の目的に照らし、選考にあたっては、半島地域内の地域づくり活動を支援・牽引する中核的な団体、または中間支援組織としての役割を担う団体を優先します。

4. 支援内容

①活動経費の支給

プログラムの実施に必要な経費（会議費、印刷費、消耗品費、旅費、講師謝金、保険料など）について、最大 50 万円程度を目安に調査費を支給します。応募者等の運営に必要な経常経費等調査費の支給対象とならない費用があります。ご不明な点は事前に事務局にお問い合わせください。

②専門家等の紹介

プログラムの実施にあたり、必要に応じて、適切な専門家・有識者、活動実績豊富な半島の地域リーダー等を推薦・招致します。

③現地活動への支援

プログラムの実施にあたり、必要なノウハウ、情報等を提供するほか、活動に関するご相談に対応します。

5. 実施期間とスケジュール

平成25年8月～平成26年2月中旬

時期	ステップ/プログラム
H25. 7月	●エントリー 添付のエントリーシートで申請（事務局が詳細確認のご連絡をします）
7月 ～8月	●選考、実施決定 ●プログラム実施計画の作成 事務局が実施団体へのヒアリング、協議を行う。 実施団体がプログラム実施計画を作成、実施に向けた準備を行う。
9月～ H26. 1月	●プログラムスタート、実施
2月	●成果報告会(まとめ・終了)

※実際の開催日程は、各地域の状況によるものとします。

※平成26年2月に、プログラム実施団体を対象とする「成果報告会」を開催予定です。プログラムの企画・実施の過程、実施成果等についてご報告いただきます。また、実施の過程・成果はレポートに整理していただきます。

6. その他

4. の支援及び本事業の進行管理等は、国土交通省から調査業務の委託を受けた（株）アール・ピー・アイが事務局として実施します。

7. 応募手続き

(1) エントリーシートの提出

本事業にご応募いただくにあたり、以下の書類を、下記応募窓口あてに郵送、メール、FAXいずれかの方法で提出をお願いします。

① エントリーシート 1部

※活動の中心となる地域の市町村または道府県の担当部署・担当者の署名、印が必要です。

※エントリーシートは、国土交通省HPからダウンロードできます。

② 応募団体の事業概要がわかる資料（団体パンフレット、事業報告書等）

(2) 応募期限

平成25年7月26日（金）18時必着

(3) 応募窓口・問い合わせ先

株式会社アール・ピー・アイ 「半島担い手強化プログラム事務局」

（担当）丸木、岩崎、佐藤

電話：03-5212-3411 FAX：03-5212-3414 E-mail：hanto@rpi.co.jp

住所：〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-16 神田アメレックスビル8階

* ご質問は電話、FAX、メールのいずれの方法でも結構です。

* 文書には回答を受けるご担当者の氏名、部署、電話・FAX及びメールアドレスを明記してください。

平成25年度「半島担い手強化プログラム」実施エントリーシート

※ご提出いただいたエントリーシート調書をもとに、受託機関事務局からあらためてご要望等を聞き取りさせていただきます。

《ご記入者＝プログラム実施団体》

団体名	(部署) (担当者)				
電 話		F A X		E-mail	
所在地					
組織分類	NPO	組合	協議会	任意グループ	行政 その他()

《市町村／道府県ご記入欄》

団体名	(部署)				
電 話		F A X		E-mail	
所在地					
担当者名	印				

1. 実施を想定する地域（プログラム実施の対象となるエリア）

メインとなる 地域・地区	
参加対象とする 地域	

2. 実施体制

○本プログラム実施団体の協力者、協力団体等（参加予定）
○新たに参加協力を図りたい団体、地域等
○参加人数の想定、協力者・参加者獲得の方法

3. プログラムのテーマ、実施方針

取組テーマ	①観光交流、特産品など商品やサービスの充実 ②地域資源の保全・継承 ③次世代の育成 ④その他（当てはまるものにマルをつけてください）
プログラム 事業タイトル	
○同テーマプログラムに関するこれまでの経緯、地域の現況（どのような状況にありどんな課題があるか）	
○担い手強化プログラムで取り組みたいこと、ねらい	
○活動スケジュール、プログラム実施計画。実施したい作業や進行方法に関する希望 （いつ・何をするか、おおよその時期、活動の内容を時系列で記載してください）	
○本プログラムの達成目標	
○プログラムの活動経費見込み（総額） （現在の実施計画にもとづいて、プログラム実施にかかる経費（見込み額）の総額と内訳を記載してください）	

4. その他

○国土交通省、事務局、専門家等に支援やアドバイスを受けたい事項。 ○プログラム企画・運営にあたって課題となる事項

※実施に対する展望、イメージがない場合はその旨を明記してください。

※これまでの活動経緯など、関連する資料等があれば、あわせてご提供ください。